

みやぎ復興パーク通信

みやぎ復興パーク活用レポート

福島印刷工業株式会社 東北事業部 編

〈創業からのあゆみ〉

昭和 31 年に東京都荒川区で福島印刷工業所としてスタートした当社は、オフセットや凸版による一般印刷のほか、シール、ラベル等の特殊印刷を手掛けてきた。「毎日の暮らし」に欠くことのできないラベル作りを中心として、お客様に価値ある製品とサービスの提供に努め、特にタックラベルとインモールドラベルにおいては、現在多くのお客様からの支持を得ている。

会社設立後、印刷業のほか包材の製造販売にも着手し、業容拡大に伴い都内の他、大阪市や仙台市で工場、営業所を順次開設。昭和 57 年には多賀城市内に東北事業部・工場を完成。主にレコーディングメディア関連包材の製造事業を手掛けてきた。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、工場 1 階床上約 3m まで津波が浸水し建屋の一部が倒壊する被害に見舞われた。当時、工場では 39 名の従業員が働いていたが、迅速な避難行動により幸いにも全員無事に難を逃れることが出来た。



(当社製ラベルを使用した商品例)



(UV オフセット・枚葉印刷機)

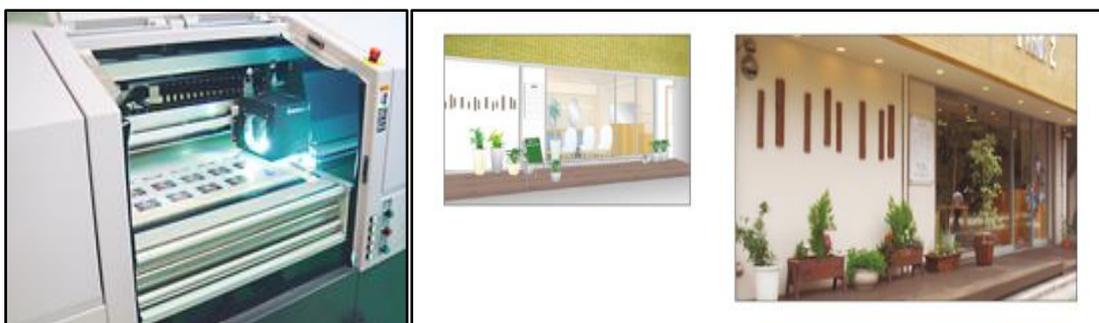
〈みやぎ復興パークへの入居〉

震災後、従業員の安否確認ののち、一日も早い取引先への製品供給、従業員の雇用確保を目指し、事業活動の再開に向けて奔走。仙台市内に仮事業所を間借りするほか、都内自社工場への生産の切替えや従業員の一時的な配置転換により、取引先への安定的な製品供給と雇用を守り続けた。しかし、津波と地震による工場建屋の被害は極めて深刻

であり、残念ながら現地での工場再開を断念せざるを得ない状況となった。

そのような困難の中で、「みやぎ復興パーク」の情報を主要取引先より入手。被災地域の早期復興への貢献を目指す当パークの理念に共感すると共に、地元従業員の通勤の利便性や取引先との近接性を考慮し、当社が復興を目指す最適な場所と判断。平成 24 年 4 月より当パークで事業を開始することとなった。

当パーク内では、現在、31 名の従業員により包材を主とした既存製品の安定供給に努めるほか、市場開発部の新設、グラフィック事業での提案型営業の推進など、積極的に新事業を展開。省資源に貢献すべく、太陽光や雨風に強い耐久性の高いポスターなど、地球にやさしい環境配慮型の商品開発も実施。今後は、当パークの入居機関とのコミュニケーションをより深め、デジタル印刷技術や軟包材、紙、インキの共同開発にも取り組み、お客様へ供給を計りたい意向も持っている。



(UV デジタル枚葉印刷機)

(企画デザインの一例；店舗のブランディング)

《更なる飛躍を目指して》

「みやぎ復興パーク」で事業活動を再開した当社であったが、当社が掲げる「満足度業界 No. 1 企業」を目指す中で、品質や生産性の更なる向上が課題となっており、当機構に対して課題解決に繋がる支援メニューの活用を相談。この課題に対して、当社の現状やニーズを踏まえ、専門家による適切な診断・助言を行う「[宮城県復興企業相談助言事業](#)」を当機構より提案。計 8 回の派遣事業において、主にリーダークラスを対象として 5S 活動や品質改善活動の実践、見える化、コスト意識等をテーマとした講義形式による助言支援を実施。助言を通して、当社の課題であった品質や生産性の更なる向上のほか、従業員の意識改革やクレーム削減等にも貢献することとなった。

また、当社は今後、県内の企業や学術機関との産学連携を前提とした新商品、新技術の開発を目指し、新たに機構の支援メニューの活用も検討している。

当社は、次の 50 年を第二の創業と考え、Change・Chance・Challenge（変化に向き合い、機会を見出し、挑戦し続ける）をスローガンとして、お客様のご要望にお応えすべく、企画・開発に注力すると共に、各種 UV 印刷方式の可能性を追求し、需要・創造・企画提案型企业として更なる飛躍を目指す。

◀福島印刷工業株式会社様からのご挨拶▶

「みやぎ復興パーク」で事業を開始してから、早くも3年が経過しました。この間、みやぎ産業振興機構をはじめ、多賀城市や宮城県、東北大学など関係機関の方々、多くの取引先、同パーク入居機関のご支援・ご協力に対して深く感謝致します。

今後も、お客様の信用・信頼をあらゆる事業活動の原点として、「正確・迅速・正直」をモットーに、明るく元気で前向きな“オンリーワン企業”を目指すと共に、地元の方々の雇用促進、被災地域の早期復興への貢献を目指し、従業員一同、努力する所存ですので、引き続きよろしく願い致します。(東北事業部 事業部長 遠藤 太市 氏)

※写真は、当社HPより転載

(福島印刷工業株式会社東北事業部のお問合せ先)

〒985-8589

宮城県多賀城市桜木三丁目4-1

ソニー株式会社仙台 TEC 内 みやぎ復興パーク

Tel 022-366-4321 Fax 022-366-2174 <http://www.net-fp.co.jp/>

【発行及び復興パーク通信のお問合せ先】

公益財団法人みやぎ産業振興機構 産学連携推進課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号

TEL 022-225-6638 FAX 022-263-6923

(みやぎ復興パーク 平成27年5月の状況)

- 入居者数・・・・・・・・ 28団体 (入居率58%)
- 見学・視察件数 3団体35名 (当年度累計:5団体75名)